

エコ新田「みらい」

発行元・ URL : <http://www7a.biglobe.ne.jp/~NITTA-MIRAI/>

9月度「生品小学生土曜スクール」開催

9月11日(土)「ぐんまこどもの国」にて、自然観察の勉強会を行いました。
参加者はスクールの生徒11名は、「こどもの国」の芳賀先生の説明で、広い園内に生えている植物や、生き物(昆虫等)を探しながら勉強しました。



園内のふれあい工房にて芳賀先生お話をして頂きました。昔は日本どこでも見られていた、自然と調和のとれた里山が、現在では少なくなっており、この「こどもの国」の土地も、昭和40年頃まで住んでいた人々が住まなくなり、荒地と成ってしまったところだったようです。もとの美しい、ほたるや、かえるやいろいろな昆虫の住めるような、自然の姿に戻すことを目的とし「ぐんまこどもの国」は生まれたそうです。

日本に住む毒ヘビ、マムシ。ヤマカガシの二種類とか？ヘビのヌケガラをみてビックリ！！ハチの巣を見せられなかなか触れない男の子、女の子はつよい簡単に手にとってみていた。

よみがえる湧水池 「花香塚地区裏沼」

8月

新田綿打花香塚地区に湧水池「裏沼」が有りましたが、雑草が繁茂しており、湧水の水源が確認できない状態でした。区長さんはじめ、地元の皆さんの協力で湧水池再生がなされ湧水量も一定であることがわかりました。整理された荒地は、グランドゴルフ場となり、地元の皆さんの憩いの場に代わっております。



よみがえった
湧水池



グランドゴルフ場



にった花トピアクリーン作戦 10・09

今年も新田地区では「にった花トピア」祭りが開催されました。コスモスをはじめ、ひまわり、そば花、他、色とりどりの花が会場に咲きそろいました。NPO法人新田環境みらいの会では、恒例の咲きそろった会場内のクリーン作戦を開催致しました。残念ながら今年は、雨の中でしたが、参加者は一般のお客さん他、賛助会員として協力を頂いている各社の社員、株式会社「サッポロ」さんは、団体で参加して頂きました。また、本日は生品小学生「環境土曜スクール」の生徒さん達も参加して頂き、雨天の中でも100名からの参加を頂き大きな成果を頂きました。東京から高速道を利用して来場して参加して頂いたお客さんが、咲き誇ったコスモスを写真におさめながら感激していたのが印象的でした。また、来年開催されることを期待して、今年も成功裏に終了いたしました。参加者に提供した廃油石鹸足りたのかな??? 「みなさんありがとうございました」



雨の中協力頂いた一般の参加者



会場のクリーン作戦の風景

湧水地「清水の保全」

10月

新田上田中町太奈荷神社西にある、湧水地「清水」の保全が大々的に施工され、10月末に完成しました。新しく生まれ変わった石垣は、施工業者さんの話によると苔の生える材質が指定という事で、特注で仕入れた石を使用したものだそうです。きれいな自噴水なのできれいな苔が生える事と思います。みなさん近くに出向いたら新しい湧水地「清水」の自噴水を覗いてみてください。



現状から
工事開始



仕上から
完成



地域環境学習推進事業2010 (彩の国資源循環工場と武甲山伏流水の見学)

10月

NPO法人新田環境みらいの会では群馬県地域環境学習事業として、10月27日(水)「彩の国資源循環工場」「株式会社エコ計画」「寄居エコスペース総合リサイクル施設」及び「武甲山伏流水」(平成の名水百選)【妙見七つ井戸】見学会を行いました。太田市環境課の協力により市バスを利用して15名の参加者は工場視察、名水散策と有意義な秋の一日を過ごしました。

①エコ計画・寄居エコスペース

株式会社「エコ計画」は平成17年5月・総合リサイクル施設として、操業を開始したリサイクル工場です。この工業団地は、平成に成って、産業廃棄物を埋め立て予定地として計画していたようですが、地元の理解が得られず、理解を得るまでには、埼玉県、地元、工事業者で埋め立てるよりリサイクル工場の道を選択し、許可を得た民間企業が創り上げた工業団地です。条件は国の環境基準の10分の一を基準として、産業廃棄物処理の中からリサイクル製品を3商品を創り出すことが条件とされたものです。「寄居エコスペース」では8社のリサイクル会社が埼玉県内の産廃ほか一般廃棄物、汚泥をまかなっているようです。株式会社からは、固形燃料・RPF肥料・そして電商品からリサイクルされる商品と総合的に・10t/day処理を可能とした。環境省より民間第二号「産業廃棄物処理特定施設整備法」認定されました。



「エコ計画」寄居エコスペース



坂爪講師より工場設計を聞くみなさん



二班に分かれ完全装備で工場見学



サーマルサイクル施設の説明

② 武甲山伏流水（平成の名水百選） 「妙見七つ井戸」

「妙見七つ井戸」巡りは、「NPO秩父の環境を考える会」会長さん達の説明案内でスタートしました。何はともあれ食事から！！食事場所は聖神社（秩父で銅採掘された銅でつくられた日本最古の銭、和同開珎が祭られている）境内をおかりして秩父の町を眺めながら食事を済ませ、お参りから始まりました。



「妙見七つ井戸」は、武甲山の地下に浸透した雨水等が盆地である秩父の平地に湧き出している。一番の井戸こそ里山の中に有りましたが、殆どが民家の屋並みの中にあり、伏流水は道路の側溝を流れ民家の生活と共に利用されているようです。伏流水はきれいな水で、野菜の洗い場などがあるが、時々沢ガニやホタルの餌とされているカワニナなどが見られ夏にはホタルが飛び交うすがたを思うとうらやましいかぎりです。

← スタート地となった聖神社「大きな和同開珎が印象的でした。」



七つ井戸順路確認スタート 一の井戸は丘陵にあり再生したものらしい 二の井戸からは民家の側溝に！

七つの池は、殆どが民家の側溝を流れ、軒下から軒下をめぐっている。きれいな水ですが、民家の石垣の下から湧き出しているのが多いパターンである。水がきれいで沢ガニやほたるのえさになる、カワニナなどが当たり前脳型として見られるのがうらやましい！！夏に時期はホタルが乱舞するのが目に浮かぶようでした。



今回の水研修会でまず感じたのは秩父盆地が、そのままの姿で開発されず自然を残し生活の中に調和出来ていることがすばらしい。野菜を洗う目先で魚やカニが遊んでいるような風景が今も生きずいている事がすばらしかった。参加者のみなさんはどんな印象でしたか？

秩父神社で巡回達成を誓い記念写真



野菜の洗い場として使用沢ガニもいる。妙見様の本尊は民家の塚に鎮座



五の井戸は民家内にあり池に鯉！

七つ井戸の紹介



お願い
 11月14日(土)今年も産業環境フェステバル・消費生活展が太田市新田文化館・総合体育館「エアリス」で開催されNPO[新田環境みらいの会]も展示発表いたします。